

検証の進め方について

1 検証の目的

平成26年9月11日の豪雨については、昭和56年8月以来33年ぶりに札幌市災害対策本部及び各区災害対策本部を設置し、避難勧告を発令するなどの対応をした。本市からの避難勧告発令の遅れはなかったものの、避難所の開設の遅れ、避難所情報の把握の困難性、要配慮者施設への連絡漏れなどが指摘されているほか、勤務時間外の非常配備の指令に伴う参集状況等、行政内部の対応状況の検証が必要である。

また、避難勧告対象人数の多さに対して避難所への避難人数の少なさが指摘されていることなどから、市民が避難情報をどう受け止め、どのように行動したかの実態把握が必要である。

これらの観点から、9月11日豪雨時の対応についての検証を進め、計画、マニュアル、本部運営体制、研修・訓練のあり方などの見直しを行い、今後の危機対応力の向上を図ることを目的とする。

2 検証の進め方

当日の対応について、庁内から挙げられた課題、関係機関の意見、市民からの意見、報道機関からの指摘、市民アンケート調査等を基に、第三者の立場にある有識者から客観的かつ専門的な助言を頂きながら、問題点を集約、課題を抽出し、対応策の検討を行う。

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
① 災对本部（事務局・各局区）対応状況	各局区への対応状況調査実施	回答集計 問題点の集約 課題抽出	対応策検討・立案	対応策素案	有識者会議を受け修正 ※必要に応じ再調査	報告書素案とりまとめ	報告書案の作成
② 市民対応状況			アンケート内容の検討	調査票発送	調査票回収	集計・分析 対応策の立案	
				有識者会議	調整	有識者会議	防災会議